

令和6年度第1回半田市児童館運営委員会議事録

開催日時	令和6年4月30日（水）	10時から11時50分まで
開催場所	半田市役所4階 庁議室	
会議次第	1 委嘱状伝達 2 あいさつ 3 委員長及び副委員長の選出 4 議題 （1）令和5年度児童館利用状況について〔資料1〕 （2）令和6年度児童館年間行事予定について〔資料2〕 （3）その他	
出席委員 （欠席委員）	【出席委員】 和田 さとみ、加藤 智子、石川 正喜、山本 宏巳、内藤 優子、中井 朋子（委員長）、杉江 正憲、榊原 茂樹、榊原 一、石川 光代 【欠席委員】 間瀬 さとみ（副委員長）、徳山 香代、荘司 京子、百田 昌弘	
委嘱者	半田市長 久世 孝宏	
事務局	子ども未来部長 間瀬 恒幸 子ども育成課 副主幹 森本 総一郎 子ども育成課 事務員 篠田 莉帆	子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課 主査 瀧田 裕樹
児童センター 館長	成岩児童センター館長 松下 真由巳 半田児童センター館長 近藤 正勝 板山ふれあいセンター館長 都築 佳子 有 協 児 童 館 長 神 戸 伸 公	亀崎児童センター館長 間瀬 浩平 乙川児童センター館長 山本 由紀 青山児童センター館長 眞鍋 昭二
次第	議 事 概 要	
委嘱状伝達	半田市長により、出席委員全員に委嘱状の授与。	
	○市長あいさつ ○委員自己紹介 ○事務局、各館館長自己紹介	
委員長および副委員長 の任命	半田市児童館管理規則第8条の規定に基づき、委員の互選により、委員長に中井朋子委員（乙川）が推薦され、出席委員全員の賛成により承認、また、副委員長には、間瀬 さとみ委員（半田）が推薦され、出席委員全員の賛成により承認される。 （以降、中井委員長のもと議事を進行する。）	
議題（1） 令和5年度児童館 利用状況について	（事務局） 項番1、「令和5年度児童館利用状況について」説明します。資料1をご覧ください。こちらの表は、利用区分別の利用者数をまとめているもので、各館について	

<p>[資料1]</p>	<p>令和4年度から令和5年度までの利用者数の推移を2段に分けて記載しています。令和5年度の利用者については、令和4年度の利用者数の合計と比べると18.7%増加しております。その前の令和3年度と令和4年度の比較でも約7.3%増加しておりましたので、昨年度、新型コロナウイルスの分類が5類に移行したことにより、コロナ禍以前の利用者数に戻りつつある状況です。</p> <p>(委員長) この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>～特になし～</p>
<p>議題(2) 令和6年度児童館 年間行事予定につ いて [資料2]</p>	<p>～資料2に基づいて、各児童センター・児童館の館長から説明～</p> <p>(委員長) この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>(榊原一委員) 児童センターの職員の人数を教えてくださいませんか。</p> <p>(青山児童センター館長) 職員は10名いますが、その中で常時最低3名は配置しています。午後からはサポーター2名が増え、5名ほどで対応しています。</p> <p>(榊原一委員) 各館の人数を教えてくださいませんか。</p> <p>(板山ふれあいセンター館長) 11名です。</p> <p>(事務局) 残りの5館については、公営館になります。館長1名と児童厚生員2名の3名体制です。</p> <p>(榊原一委員) 1日で換算すると、板山と青山は何名の職員が勤めていますか。</p>

	<p>(板山ふれあいセンター館長)</p> <p>児童センターの事業に加えて、地域子育て支援拠点事業を行っています。そこには支援員が週5日、1日5時間以上。2名体制で実施していますので、常勤3名の職員に加えて2名から3名のパート職員が勤務しています。</p>
<p>議題(3) その他 [資料3]</p>	<p>(事務局)</p> <p>事務局から1点報告があります。資料3をご覧ください。児童センターにおける施設改善・遊びの充実についてご紹介します。令和5年度は各児童センターにおいて、関係者のご尽力やご寄附をいただく等の支援もあり、施設整備や遊具を導入する等様々な取り組みによって利用者である子ども達をはじめ、保護者の皆様方に気持ちよく児童センターをご利用いただけるよう環境整備を進めることができましたと思っています。ここに掲載しているもの以外にもありますが、ピックアップしています。引き続き、令和6年度以降につきましても来館者の皆様が「また来てみたい!」と思ってもらえるような、また、働く職員も気持ちよく子ども達と交流ができるような環境をつくっていくことができればと考えております。例えば、施設の雰囲気明るくする色合いを内装で取り入れたり、トイレの利便性を向上する等、施設の改善、それから、子ども達が興味をもつようなものや、知育につながる遊具であったり、子どもの可能性を広げていけるようなものについても、寄附等を活用させていただきながら取り入れていきたいと考えています。</p> <p>(中井委員長)</p> <p>ありがとうございました。この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>～和田 さとみ委員から順に運営委員の皆様へ一言ずつご発言をいただく～</p> <p>(和田委員)</p> <p>児童センターのスタッフが様々な企画をしてくれていますが、物価が高騰しています。スタッフがいろいろなところでお金を捻出したり、リサイクル品を使用する等工夫して経費削減を行いながら行事を行っていくのは大変なことだと感じました。</p> <p>(加藤委員)</p> <p>この会議に参加し行事等を聞いていると、興味を引くようなタイトルなのでわくわくします。お話を聞いていると、たくさんの児童センターが積極的に飲食付きのイベントを取り入れていますが、参加者を増やすことを考えてのことなのか、</p>

子ども食堂のようなこと考えてなのかどちらなのかと思いながら聞いていました。

(中井委員長)

児童センターでのイベントは子ども食堂のようなことも想定しながら、飲食付きのイベントを実施しているのでしょうか。

(事務局)

子ども食堂は、食べ物を食べる機会が必要な人たちが集まってきて、それに救われるような要素だと思いますが、児童センターに関しては、みんなが笑顔になって楽しめるところで、集まってもらうことを目的に食べ物を扱うことが増えているものと思われます。子ども食堂は市内でも10数か所で様々な方たちが定期的に開催してくださっています。児童センターとは別のものと認識しています。

(石川正喜委員)

亀崎小学校が新築されると、児童センターの機能がそちらに吸収されてしまい、現在亀崎児童センターで行われている年間行事がどうは反映されるか心配です。様々な意見があるかと思いますが、お金だけの問題ではないのですが、児童センターを支援する人達と利用者含めて子どもの不利益にならなければとよいと思います。問題的に対して、様々な形で解決方法をみいだしていただきたいと思います。

(山本委員)

亀崎児童センターが今後どのようになっていくかと考えると、どうしても萎んでいくイメージになってしまいます。同じようなことが中学生でも起きていて、この9月から先生方は土日の部活動から完全に退き、地域のスポーツクラブが受け入れるような動きがあります。もともとスポーツクラブの立ち上げ時は大人たちが自分たちの楽しみのために、同好会という形でチームが発足しており、中学生を受け入れて教えるという発想でできたクラブはほとんどありません。今回、先生方が退かれることになり右往左往している状態です。中学生の受け皿としてスポーツクラブが取り入れるための繋ぎ役がおらず、力を合わせて知恵を出しながらやっていくしかないと思っています。

(内藤委員)

今回、初めてこの会議に参加して、日々の生活の中で子どもとできることを児童センターでも取り入れていることを聞いて、私もそういった視線で見たいと感じました。子ども達にとって、いろいろな経験は大きくなったときに覚えて

いて、職業を決めることに繋がっていくことや、ボランティアの方々に優しくされた経験を今度は自分がそうしたいという考えに繋がるものと思います。そのサポートをすることができればとよいと思いました。

(杉江委員)

各館で年間20回近い行事をやっているわけですが、各館で行っている行事で子どもが一番多く参加しているものを教えてください。

(亀崎児童センター館長)

「かめじ商店街」という行事で、看板や値札等については職員が手作りしているのですが、中には子どもたちが作ったものもあり、それを売ったり買ったりすることをすごく楽しんでいます。また、昨年パフェ作りを開催しましたが、3日間で200人集まりました。

(半田児童センター館長)

1年の中で最大の行事である「センターまつり」にはたくさんの方が来館されます。それとは別に日々の行事では工作で人気のある講座はたくさん集まります。

(板山ふれあいセンター館長)

赤ちゃん連れを対象とした、「ぴいかぶう」という活動があり、定員20名で既にいっぱいです。やはり、赤ちゃんが1歳ぐらいになるとお出かけする場所を求めている、0歳児の活動でも13組ぐらい来ますが、1歳児はとてもニーズが高いです。それから、小学生に関しては、定員を決めるものと自由に参加するものがある。定員を決めたものであるフェスティバルでは、60、70人の定員がいっぱいになります。自由参加では、スポーツをみんなでするのが子どもたちは嬉しくて、みんなで一緒にスポーツをするのは子どもたちに大人気です。

(青山児童センター館長)

毎年10月に開催している「花はなまつり」は約200名の参加者がいます。事前にPRして行うイベントはほぼいっぱいになります。特に、クリスマス会もほぼ毎回希望者がいっぱいです。

(有脇児童館館長)

参加人数でいえば、夏祭りや児童館まつりの参加者が多いです。去年は夏祭りにおいて縁日のような仕掛けでお菓子やジュースを出しました。また、児童館まつ

りでも同様に、参加者の皆さんに喜んでいただきました。また、11月の餅つき大会では100名以上の参加がありました。

(榊原茂樹委員)

私も地元のコミュニティ活動の中で子育て支援に去年から携わっており、少しずつ子どもたちのことも考えていかないといけないと思っています。やはり、子どもたちの笑顔が一番大事だと思いますので、いろいろ勉強していきたいと思っています。

(榊原一委員)

資料1の児童館利用状況を拝見していて、この利用区分のその他は実質大人の数だと思いますが、多くの児童館センターでは、乳幼児の数と大人の数が大体一致しているの、乳幼児の付き添いの方の数字になると推測します。しかし、有脇の場合は乳幼児の利用が12%ぐらいなのですが、大人の利用がたいへん多いです。有脇の場合は地域の方がかなり公民館事業に協力的でイベントのときに来館するので、乳幼児のためだけでなく、いろいろなイベントに大人がたくさん来られる状況と思っています。ひとつ伺いたいのは、有脇の場合、午前中に乳幼児のサービスに力を入れていて、特に近年は相当に力を入れていますし、地域へのPRもかなり進んでいると思っています。ただ、この実績を見るとまだ乳幼児の利用自体は10%少しであり、これからこの数字をどう増やせるのか、少子化が進む状況の中で、乳幼児のお母さんや保護者の方が利用していただくことが大切だと思っています。他館よりも乳幼児の利用が少ない点について、どのように思われますか。

(有脇児童館館長)

有脇は確かに子ども・乳幼児が少ないですし、そういう形になっているのは確かです。その中で、午後でも子ども・乳幼児の方々に来ていただければありがたいですが、午後は小学生が主に活動しており、来館しにくい状態となっていますので、何か行事などで違うアプローチをかけていかなければとは思っています。

(榊原一委員)

一般的に児童館では3人の職員が、乳幼児、小学生、中学生では、まるっきり違うというふうに思うのですが、幅広い子どもを相手に1日中、あるいは1年中、対応すると思うと、本当にご苦労だなと思います。児童館には、この乳幼児から中学生までが一緒の空間に出入りをしているわけなのですが、この辺は今後どうなるのか、この三者に対してのあり方、サービスの方向性についてどうお考えか

	<p>聞かせてください。</p> <p>(事務局)</p> <p>児童センターの利用者というところで、乳幼児と中学生または高校生の利用者が同じ場所にいると安全性というところで問題ですし、職員もどのように対応していくか大変難しいと思っています。ですので、時間帯やエリアで分けるなどして、居場所として、幅広い年齢の方々が気持ちよく利用していただける環境を作り続けていくことが私どもの責務と思っております。地域によって、様々な利用者の割合ですとか、それぞれの特色があったりする中で、全て同じというわけではありませんが、より良い環境を整備していけるような取り組みが必要だと考えています。</p> <p>(石川光代委員)</p> <p>今回、初めて参加させていただき、こんなにたくさん子どもたちのために児童館及びセンターの方たちが企画してくださっていて、ありがたいことであると思えました。また、子どもたちの居場所として、それから、若いお母さんやお父さんたちの居場所として、とても役に立っていることがわかりました。</p> <p>これからは私も、積極的に学生の方たちやボランティアの方たちや地域の皆さんと協力して、子どもたちが本当にみんな楽しく笑顔で過ごせるようになれたらいいなと思っています。</p> <p>(中井委員長)</p> <p>以上で議事を終了いたします。事務局へお返ししますので、よろしく申し上げます。</p>
閉会	<p>(事務局)</p> <p>長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。これをもちまして、第1回児童館運営委員会を閉会いたします。皆様にお集まりいただく会議は、年2回の開催を予定しています。2回目につきましては、年度末を予定していますので、日程が決まり次第、御案内させていただきます。皆様には引き続き、各館の運営について忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。よりよい児童センターのあり方を考えていきたいと思っておりますので今後とも1年間、よろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>
(終了)	